

同志社大学

2015年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2016年 2月 25日提出

所 属	職 名	氏 名
政策学部	教授	野間敏克
研 究 題 目	地域金融の機能－京都の信用金庫を中心に	
研 究 成 果 の 概 要	<p>2015年度個人研究費の研究目的は</p> <ul style="list-style-type: none">・京都を中心に地域金融の成り立ちを追う。・信金王国と呼ばれるようになった理由を探る。・京都における地域金融の特徴を整理し将来像を描く。 <p>であった。</p> <p>京都の信用金庫にしぼった研究は残念ながら思うように進めなかった。 指導している社会人大学院生の博士論文テーマとの重複が多く、共同研究の形がとりにくかったことがひとつの原因である。</p> <p>むしろ以前からの継続的な研究テーマである地域経済と地域金融の関係に興味 が戻っており、人口減少や高齢化が地域金融にどのような影響を与えるかについ て文献を集め議論を整理した。</p> <p>その成果は、研究ノート「人口減少と地域金融システム」にまとめられ、2016 年3月公刊予定の『総合政策科学の現在（総合政策科学研究科20周年記念論文 集）』（晃洋書房）に掲載される。</p>	